

# 長井崎中学校区小中一貫校化 推進委員会たより No.4

平成 30 年 8 月 発行  
沼津市教育委員会事務局 教育企画課  
所在地：沼津市御幸町 16-1  
電話：055-934-4821  
FAX：055-931-8977  
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
今号では、5、6月に行われた登下校体験後の保護者アンケートの回答結果等と、第2回推進委員会での話し合いの様子を中心にお知らせします。



## 登下校体験アンケートの回答結果等について

前号では、登下校体験の様子についてお知らせしました。今号では、保護者に回答いただいたアンケートの結果および教職員の意見、今後の取組についてお知らせします。

### 保護者アンケート（回収率 91.1%）

#### (1) 長井崎中学校への登下校体験

##### ①坂道について

- ・問題ない、大丈夫 25.3%
- ・慣れれば問題ない 7.6%
- ・高学年は問題ない 3.8%
- ・大変・きつい、疲れる 7.6%
- ・低学年には大変、きつい 30.4%
- ・足腰が鍛えられる、体力がつく 19.0%

##### ※不安や心配、課題等

- ・荷物が多い日 10.1%
- ・悪天候、雨、風の日 10.1%
- ・不審者対策、防犯対策 5.1%

##### ②その他（多かった意見）

- ・バスが混雑していた、座って乗車したい
- ・時間や時刻については問題ない
- ・バス停の問題（危険、心配）

#### (2) 静浦小中一貫学校への登下校体験

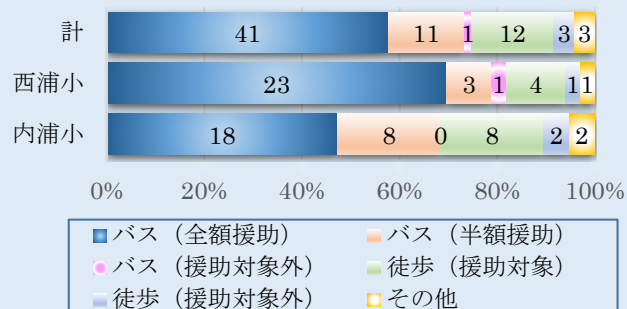
##### ①距離や所要時間について

- ・問題ない、大丈夫、負担はない 15.2%
- ・いつもより余裕があり楽だった 6.3%
- ・距離が長く不便、遠い、負担 22.8%
- ・朝早くなり負担が大きい 7.6%
- ・遠くなるため災害時等が心配 6.3%
- ・バス酔いした 5.1%
- ・家を出る時間は普段と変わらない 7.6%
- ・学校が変わるのであれば、時間や距離が変わることは仕方ない 6.3%

##### ②その他（多かった意見）

- ・家とバス停の間の道路の横断が危険
- ・バス停の問題（横断歩道、待ち時間）
- ・スクールバスを希望する
- ・学校が新しくきれい、施設設備がよい

#### (3) バス利用の意向（長井崎中）



#### (4) 登下校について心配な点や意見等

##### ①不安や心配

- ・地震や津波、災害発生時の対応
- ・横断時の飛び出しなど
- ・不審者への不安

##### ②意見・要望

- ・路線バスではなくスクールバスを希望

## 教職員の意見

### (1) 長井崎中学校への登下校体験

- ①坂道について
  - ・慣れれば問題ない
  - ・低学年への配慮や悪天候時の対応が必要
- ②バス停での様子等
  - ・問題ない（多数）
  - ・路線バス1台に大勢乗ることは危険
  - ・バス停では大人が付くとよい 等

### (2) 静浦小中一貫学校への登下校体験

- ①通学時間や距離が長く（短く）なること
  - ・長井崎中よりも楽である（主に内浦小）
  - ・負担が大きい（主に西浦小）
- ②バス停での様子等
  - ・問題ない（多数）
  - ・貸し切りバスだったので快適で安全だった
  - ・静浦との統合は難しいのではないかと 等

## 今後の取組について

今回の登下校体験をとおして、路線バスの増発や専用スクールバスの可能性の検討、通学援助制度の精査をしていく必要があることを確認しました。また、防犯や防災など、安全面の課題も解決していく必要があります。今後は、市関係各課やバス会社との連絡調整を進めていきます。

## 統合案の絞り込みを進めています。

7月23日（月）に開催した第2回推進委員会では、登下校体験の報告と統合案の絞り込みについて協議しました。

昨年度、教育委員会が示した8つの統合案について、それぞれの問題点や課題となることなどを挙げ、実現性と合わせて説明をしました。



「統合8案」

- ①内浦小を西浦小へ統合。状況を見つつその後の方向性を今後検討
- ②内浦小を西浦小へ統合。長井崎中と小中一貫教育（分離型）の推進
- ③内浦小、西浦小、長井崎中で長井崎中を小中一貫校化

長井崎で統合する案

- ④内浦地区の小学生のみが静浦へ通学。西浦小、長井崎中は維持
- ⑤内浦地区の小中学生は静浦へ通学。西浦小、長井崎中は維持

校区が分断される案

- ⑥内浦小、西浦小、長井崎中を段階的に静浦へ統合
- ⑦内浦小、長井崎中を静浦へ統合。西浦小を分校化
- ⑧内浦小、西浦小、長井崎中と静浦で小中一貫校化

静浦で統合する案

「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針（以下、基本方針）」や沼津市が進める小中一貫教育の方向性と照らし、現在の複式学級の発生状況、今後の児童生徒数の推移、人的措置や施設設備などの諸条件を考えていくと、小学校同士が統合する案（①②）や校区が分断される案（④⑤）、段階的に統合する案（⑥）、分校化案（⑦）は、実現性が低く、統合案から除外できると考えます。④⑤⑦については、昨年度実施したアンケート結果からも望む声は少ないと判断できます。また、④⑤⑥については、小中一貫教育の方向性に沿いません。

適正化によりその目的を達成していくことと地域や保護者の考えを反映していくと、統合案は、「③長井崎中学校を小中一貫校化する統合案」と「⑧静浦小中一貫学校で三浦地区を統合する案」の2つに絞られることを確認しました。委員からは、地域から学校がなくなることの弊害、定住・移住促進との兼ね合い、時間をかけてじっくり進めた方がよいのではないかと、統合案を絞っていかないと先には進まないなど、多くの意見が出されました。

今後は、それぞれの案のメリット・デメリットを整理した上で通学方法などの諸条件を比較し、保護者の皆さんからご意見も伺いながら、統合の方針を定めていきます。必要に応じて説明会やアンケート調査なども行っていく予定です。御協力お願いいたします。

\*統合8案は、沼津市ホームページに掲載しております。（推進委員会たよりNo.2）→

